



2024年7月12日

各 位

会社名 株式会社 パ ソ ナ グ ル ー プ
代表者名 代表取締役グループ代表兼社長 南部 靖之
(コード番号 2168 東証プライム)
問合わせ先 専務執行役員 CFO 仲瀬 裕子
(TEL. 03-6734-0200)

特別損失等の計上及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2024年5月期第4四半期連結会計期間（2024年3月1日～5月31日）において、特別損失等の計上及び法人税等調整額（損）の計上をいたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 特別損失等の計上

(1) 減損損失の計上（連結、個別）

主に地方創生ソリューションセグメントに属する商業施設等において、事業環境や足もとの業績動向を踏まえて、今後の事業計画を見直した結果、一部の固定資産について回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、連結決算において10,811百万円、個別決算において4,727百万円の固定資産に係る減損損失を特別損失として計上いたしました。

(2) 関係会社株式評価損の計上（個別）

上記減損損失の計上等により、当社の保有する関係会社株式の実質価額が著しく下落したため、個別決算において5,962百万円の関係会社株式評価損を特別損失として計上いたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

(3) 貸倒引当金繰入額の計上（個別）

上記減損損失の計上等により、債務超過となった関係会社への貸付金等に対して貸倒引当金を計上するため、個別決算において3,264百万円の貸倒引当金繰入額を営業外費用として計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

(4) 投資有価証券評価損の計上（個別）

当社が保有する市場価格のない投資有価証券の一部について、帳簿価額に比べて実質価額が著しく下落したため、685百万円の投資有価証券評価損を特別損失として計上いたしました。

2. 法人税等調整額（損）の計上（連結、個別）

将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当連結会計年度の連結決算において1,886百万円、個別決算において1,120百万円の法人税等調整額（損）を計上いたしました。これにより、当第4四半期連結会計期間（2024年3月1日～5月31日）の連結決算における法人税等調整額（損）の計上は2,294百万円となりました。

3. 業績に与える影響

本件は、本日開示しております「2024年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上